

経営比較分析表（平成29年度決算）

青森県 平川市

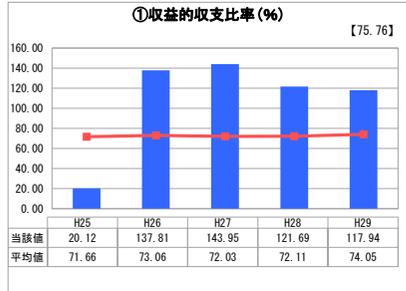
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	0.91	3,666	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
31,708	346.01	91.64
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
286	0.84	340.48

グラフ凡例

- 当該団体の値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



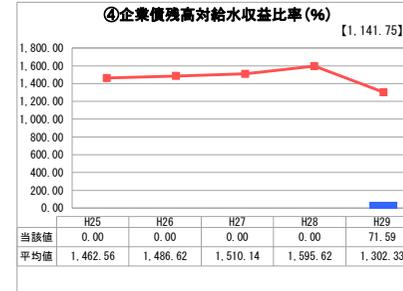
「単年度の収支」



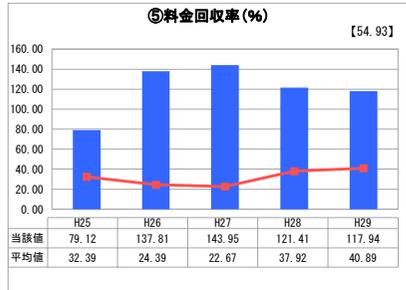
「累積欠損」



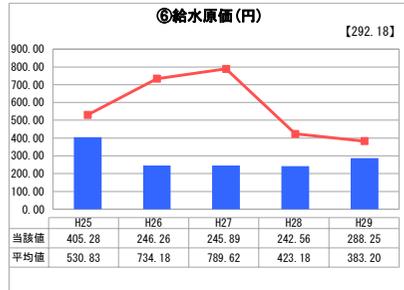
「支払能力」



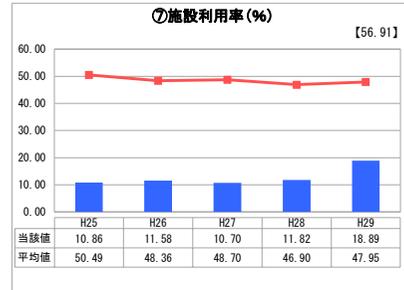
「債務残高」



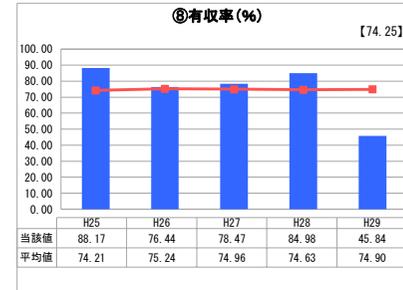
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

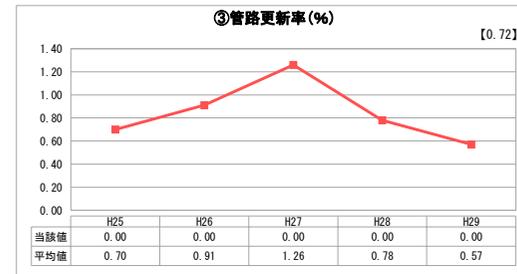
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について
地方債の繰上償還を行ったH25年度を除く過去5年間に100%を超えており、安定した経営状況である。

②施設利用率について
当初計画時に比べて、人口が大幅に減少したため必要水量が少なくなり、過去5年間の施設利用率は10%程度の低い水準となっている。

③有収率について
H29年度は、小国地区簡易水道本管からの漏水により有収率が大きく低下した。

2. 老朽化の状況について

管路更新について、法的耐用年数を経過していないため、現在管路更新は実施していない。

全体総括

収益的収支比率、料金回収率及び給水原価は類似団体平均と比較して良好な数値であり、現時点においては健全な経営を維持している状況である。

今後は、人口減少に伴う給水収益の減少や経年劣化により管路や設備等の更新費用の増加が見込まれるため、経営・資産等の状況を的確に把握して経営基盤の計画的な強化と財政マネジメントの向上に取り組んでいく。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。